

令和 2 年度  
石垣市教育事務点検評価報告書  
(令和元年度事業対象)

令和 2 年 11 月  
石垣市教育委員会



## 石垣市教育事務点検評価報告書の議会への提出及び公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、令和元年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行い、教育に関し石垣市教育委員会が認めた学識等の経験を有する者の意見を付して報告します。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目次

はじめに	1
1 教育委員会の活動	2
令和元年度 教育委員会活動状況一覧表	3
令和元年度 教育委員会会議開催状況一覧表	4
2 教育事務点検評価	9
令和2年度 教育事務（令和元年度事業）点検評価結果一覧表	9
いじめ問題対策費	10
大濱信泉記念館	11
学校給食費	12
学齢時就学対策費	13
学力向上対策費	14
研究指定校事業	15
気になる子のすこやかな学び支援事業	16
「学ぶ意欲・わかる授業」を支援する事業	17
情報教育充実事業	18
子ども若者総合相談支援事業	19
不登校対策等支援員配置モデル事業	20
文化財保護啓発費	21
フルスト原遺跡保存整備計画事業	22
真栄里古墓群発掘調査事業	23
石垣市史 戦後開拓移民 編集・発刊事業	24
「市政のあゆみ（平成版）」編集・発刊事業	25
企画展等の開催	26
調理業務等民間委託業務	27
図書館充実費	28
特別企画展	29
3 外部評価委員による総評	30
<b>【資料】</b>	
令和2年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系	34
令和2年度 石垣市教育委員会組織機構図	35
石垣市教育事務点検評価実施要綱	36

## はじめに

石垣市教育委員会では、①自ら学ぶ意欲を育て、学力向上を目指すとともに、創造性に富む幼児・児童・生徒を育成する。②平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な市民を育成する。③学校・家庭・地域社会相互の連携及び協力のもと、時代の変化に対応し得る教育の方途を求め、生涯学習社会の実現を図る。を教育目標に教育行政を推進しています。

その目標を推進する施策として、教育委員会各課等において令和元年度に実施した事業の中から 20 事業を選定し、今年度の点検評価を行いました。

評価の方法は、各担当課が事業執行概要等を評価シートとして作成し、教育事務点検評価委員会で内容等の点検及び内部評価を行い、その後、学識経験者で構成される外部評価委員会による各課ヒアリングを実施し、事業ごとに外部評価を付していただきました。

その結果、外部評価委員から 20 事業中 18 事業が計画通り又は計画以上に執行されているという評価を受けましたが、評価の中身においては、多くの事業で様々なご指摘とご提言をいただいています。

これらの貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の教育行政の推進に反映させるよう努めてまいります。

この報告書は、評価の結果と教育委員会の活動状況をまとめ、議会に提出するとともに、公表することで市民への説明責任を果たし、教育行政の質の向上を図ることを目的に作成したものです。

今後とも市民の皆様の教育行政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 石垣市教育委員会教育長及び委員

職名	氏名	任期	備考
教育長	石垣 安志	自 平成 28 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日	
教育長職務代理者	金城 綾子	自 平成 29 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日	
委員	浦内 克雄	自 平成 29 年 12 月 19 日 至 令和 3 年 12 月 18 日	
委員	大道 夏代	自 平成 29 年 12 月 19 日 至 令和 3 年 12 月 18 日	
委員	南 和秀	自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日	

### 石垣市教育事務点検評価外部評価委員

氏名	備考
森永 梢	元石垣市立小学校長
前花 宏明	元石垣市会計管理者

## 1 教育委員会の活動

### (1) 教育委員会の会議等の状況

石垣市教育委員会においては、教育委員会の会議を毎月1回以上開催し、事務局と連携しながら施策を推進してきました。

教育委員会の会議は、原則として毎月第4金曜日に定例会を、必要に応じて臨時会を開催しています。令和元年度は定例会12回、臨時会4回の計16回の会議を開催しました。

また、沖縄県市町村教育委員会連合会や八重山地区市町教育委員会協議会の総会・研修会等に参加し、他市町村の教育委員と意見交換を行い、教育委員会が直面する課題等について情報を共有し、教育行政について研鑽を積むことができました。

### (2) 審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第2条の規定に基づき、計82件の議案を審議しました。

### (3) その他の活動状況

行事・大会等への参加

- ・管外転入教職員激励会
- ・市立小中学校入学式
- ・市立小中学校運動会・学習発表会・研究発表会等
- ・市立小中学校訪問（授業・校内視察及び意見交換）
- ・市立教育研究所入所式・研究成果報告会
- ・石垣市成人式
- ・いしがき教育の日
- ・石垣市生涯学習フェスティバル
- ・石垣市自治公民館研究大会
- ・市主催行事（市制施行記念式典、石垣島まつり、石垣島マラソン等）

令和元年度 教育委員会活動状況一覧表

月	会議		その他の活動
	教育委員会	その他	
4月	・定例会		・管外転入教職員激励会 ・各小中学校入学式
5月	・定例会	・八重山地区市町教育委員会協議会全体会（石垣市） ・沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会（名護市）	
6月	・定例会		
7月	・定例会	・沖縄県都市教育長協議会（那覇市）	
8月	・臨時会 ・定例会		
9月	・定例会		
10月	・定例会	・沖縄県市町村教育委員会研修会（那覇市） ・九州都市教育長協議会（宮崎市）	・教育研究所入所式 ・小中学校教職員研修会(信泉プロジェクト) ・学校訪問（大浜小） ・学校訪問（崎枝小中）
11月	・定例会	・八重山地区市町教育委員会協議会研修会（竹富町）	・石垣島まつり ・学校訪問（新川小・あらかわ幼） ・学校訪問（富野小中） ・学校訪問（石垣中）
12月	・定例会		
1月	・定例会	・沖縄県都市教育長協議会（南城市）	・石垣市成人式 ・学校訪問（平真小） ・学校訪問（白保小・しらほ幼） ・石垣島マラソン
2月	・臨時会 ・定例会 ・臨時会	・市町村教育委員会委員・教育長研修会（那覇市）	・いしがき教育の日 ・生涯学習フェスティバル ・学校訪問（平久保小・ひらくぼ幼）
3月	・臨時会 ・定例会		・教育研究所成果報告会・修了式

令和元年度 教育委員会会議開催状況一覧表

区分	開催回数	付議件数	主な内容
定例会	12回	76件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する基本的な方針に関すること。</li> <li>・規則、規程、要綱等の制定改廃に関すること。</li> <li>・教育委員会事務局、教育機関の人事（幼稚園、小中学校含む）に関すること。</li> <li>・教育予算に関すること。</li> <li>・附属機関等の委員の任命・委嘱に関すること。</li> </ul>
臨時会	4回	6件	
計	16回	82件	

開催回数	開催日	議案番号	議案名	摘要
第1回 定例会	4月26日	議案第1号	石垣市立適応指導教室設置要綱の一部を改正する要綱について	継続
		議案第2号	沖縄振興特別推進交付金による石垣市児童生徒の市外派遣に関する補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第3号	石垣市児童生徒の年度末時期の市外派遣に関する補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第4号	独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度に係る保護者負担に関する要綱の制定について	原案可決
		議案第5号	石垣市立八重山博物館協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第6号	学校施設の使用に関する協定の締結について（名蔵小中学校、石垣小学校、平真小学校及び登野城小学校）	承認
		議案第7号	学校施設の使用に関する協定の締結について（石垣小学校）	承認
		議案第8号	臨時代理の承認を求めることについて（平成31年度石垣市教育委員会教育主要施策体系）	承認
		議案第9号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱）	承認
第2回 定例会	5月24日	議案第10号	石垣市就学支援委員会条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第11号	石垣市史編集委員会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第12号	石垣市文化財審議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第13号	教科用図書八重山採択地区協議会への諮問について	承認
		議案第14号	教科用図書八重山採択地区協議会委員の選任について	2人選任
		議案第15号	臨時代理の承認を求めることについて（学校施設の使用に関する協定の締結について（新川小学校、真喜良小学校、石垣小学校、八島小学校及び川平小学校））	承認

第3回 定例会	6月14日	議案第16号	石垣市社会教育委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第17号	石垣市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第18号	令和元年度石垣市一般会計補正予算(第1号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第19号	教育財産の移管の承認を求めることについて	承認
		議案第20号	学校施設の使用に関する協定の締結について(野底小学校)	承認
		議案第21号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市立適応指導教室設置要綱の一部を改正する要綱)	承認
		議案第22号	臨時代理の承認を求めることについて(学校施設の使用に関する協定の締結について(大浜中学校))	承認
		議案第23号	臨時代理の承認を求めることについて(学校施設の使用に関する協定の一部変更について(石垣小学校))	承認
第4回 定例会	7月30日	議案第24号	石垣市公民館設置条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第25号	石垣市立文化会館設置条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第26号	石垣市放課後子ども総合プラン策定委員会設置要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第27号	平成30年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出決算の承認を求めることについて	承認
		議案第28号	令和元年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算(第1号)の承認を求めることについて	承認
		議案第29号	教育財産の移管の承認を求めることについて	承認
		議案第30号	学校施設の使用に関する協定の締結について(石垣中学校及び石垣第二中学校))	承認
		議案第31号	臨時代理の承認を求めることについて(学校施設の使用に関する協定の締結について(宮良小学校及び八島小学校))	承認
		議案第32号	臨時代理の承認を求めることについて(学校施設の使用に関する協定の一部変更について(野底小学校))	承認
		議案第33号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市立図書館協議会委員の委嘱の承認について)	承認
第5回 臨時会	8月7日	議案第34号	令和2年度使用小学校及び中学校教科用図書の採択について	採択
第6回 定例会	8月23日	議案第35号	石垣市立幼稚園保育料に関する条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めることについて	承認

		議案第 36 号	石垣市立幼稚園の学級編制の特例に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 37 号	令和 2 年度石垣市立幼稚園園児募集基本方針の承認を求めることについて	修正のうえ承認
		議案第 38 号	石垣市奨学基金条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 39 号	新石垣市立八重山博物館建設基金条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 40 号	令和元年度石垣市一般会計補正予算(第 2 号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 41 号	石垣市教育事務点検評価委員会外部評価委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
第 7 回 定例会	9 月 27 日	議案第 42 号	石垣市奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 43 号	桃原用昇奨学貸付金規則等の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 44 号	石垣市立小学校及び中学校の指定通学区域に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 45 号	石垣市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 46 号	石垣市小学生・中学生教育交流事業実施要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第 47 号	石垣市児童生徒の県外派遣にかかる輸送費補助に関する補助金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第 48 号	(仮称)石垣市ユースセンター設置検討委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第 49 号	石垣市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第 50 号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市青少年街頭指導員に関する要綱の一部を改正する要綱)	承認
第 8 回 定例会	10 月 28 日	議案第 51 号	石垣市立学校給食センター会計規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 52 号	いしがき教育の日表彰規程の一部を改正する規程について	原案可決
第 9 回 定例会	11 月 22 日	議案第 53 号	令和 2 年度石垣市教育委員会(幼稚園教諭)人事異動方針の承認を求めることについて	承認
		議案第 54 号	令和 2 年度石垣市教育委員会人事異動方針の承認を求めることについて	承認
		議案第 55 号	令和元年度石垣市一般会計補正予算(第 3 号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 56 号	令和元年度石垣市教育事務点検評価報告書(平成 30 年度事業対象)の承認を求めることについて	承認
第 10 回 定例会	12 月 26 日	議案第 57 号	石垣市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	修正可決

		議案第 58 号	石垣市学校施設等長寿命化計画検討委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第 59 号	令和元年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算（第 2 号）の承認を求めることについて	承認
		議案第 60 号	臨時代理の承認を求めることについて（学校施設の使用に関する協定の締結について（富野中学校））	承認
第 11 回 定例会	1 月 23 日	議案第 61 号	幼保連携型認定こども園の設置に対する意見について	異議なし
		議案第 62 号	石垣市立幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 63 号	石垣市就学支援委員会条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 64 号	「市政のあゆみ 2～平成の記録～」(仮称)刊行委員会設置要綱の制定について	原案可決
第 12 回 臨時会	2 月 17 日	議案第 65 号	令和 2 年度県費教職員（管理職を除く）人事異動内申の承認を求めることについて	承認
		議案第 66 号	令和 2 年度県費教職員（管理職）人事異動内申の承認を求めることについて	承認
第 13 回 定例会	2 月 19 日	議案第 67 号	石垣市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 68 号	令和 2 年度石垣市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第 69 号	令和元年度石垣市一般会計補正予算（第 4 号）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 70 号	令和 2 年度石垣市一般会計予算（教育予算）案提出の承認を求めることについて	承認
第 14 回 臨時会	2 月 28 日	議案第 71 号	令和 2 年度教育委員会学校関係職員（幼稚園教諭等）定期人事異動の内示の承認を求めることについて	承認
第 15 回 臨時会	3 月 19 日	議案第 72 号	令和 2 年度教育委員会学校関係職員（幼稚園教諭を除く）定期人事異動内示の承認を求めることについて	承認
		議案第 73 号	令和 2 年度教育委員会事務局・教育機関（学校を除く）定期人事異動内示の承認を求めることについて	承認
第 16 回 定例会	3 月 27 日	議案第 74 号	令和 2 年度石垣市幼稚園医、幼稚園歯科医及び幼稚園薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第 75 号	令和 2 年度石垣市教育委員会教育主要施策体系の承認を求めることについて	修正のうえ承認
		議案第 76 号	独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度に係る保護者負担に関する要綱の一部を改正する要綱について	原案可決

	議案第 77 号	社会教育学級実施委託要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
	議案第 78 号	石垣市学校・家庭・地域の連携協力推進事業合同運営委員会設置要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
	議案第 79 号	石垣市学校・家庭・地域連携協力推進事業実施要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
	議案第 80 号	令和 2 年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出予算の承認を求めることについて	承認
	議案第 81 号	学校施設使用に関する協定の締結について (石垣小学校、野底小学校、伊野田小学校、新川小学校及び宮良小学校)	承認
	議案第 82 号	臨時代理の承認を求めることについて (観光防災備蓄品の保管に関する覚書の締結 (石垣中学校及び石垣第二中学校))	承認

## 2 教育事務点検評価

### 令和2年度 教育事務（令和元年度事業）点検評価結果一覧表

番号	事業名	新規	沖振交	担当課	内部評価	外部評価	頁
1	いじめ問題対策費			総務課	A	A	10
2	大濱信泉記念館			総務課	A	A	11
3	学校給食費			学務課	A	A	12
4	学齢時就学対策費（小中）			学務課	A	A	13
5	学力向上対策費			学校教育課	A	A	14
6	研究指定校事業（小・中）		○	学校教育課	A	A	15
7	気になる子のすこやかな学び支援事業		○	学校教育課	A	A	16
8	「学ぶ意欲・わかる授業」を支援する事業		○	学校教育課	A	A	17
9	情報教育充実事業			学校教育課	A	A	18
10	子ども若者総合相談支援事業			いきいき学び課	A	A	19
11	不登校対策等支援員配置モデル事業			いきいき学び課	A	A	20
12	文化財保護啓発費			文化財課	A	A	21
13	フルスト原遺跡保存整備計画事業			文化財課	A	A	22
14	真栄里古墓群発掘調査事業	○		文化財課	S	S	23
15	石垣市史 戦後開拓移民 編集・発刊事業			市史編集課	B	C	24
16	「市政のあゆみ（平成版）」編集・発刊事業			市史編集課	A	A	25
17	企画展等の開催			博物館	B	B	26
18	調理業務等民間委託業務			学校給食センター	A	A	27
19	図書館充実費			図書館	A	A	28
20	特別企画展			図書館	S	S	29

沖振交：沖縄振興一括交付金

評価	内部評価	外部評価
S：計画以上(101%以上)	2事業	2事業
A：計画通り(70～100%)	16事業	16事業
B：ある程度計画通り(50～69%)	2事業	1事業
C：あまりうまくいっていない(30～49%)	0事業	1事業
D：うまくいっていない(29%以下)	0事業	0事業

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	総務課			
事務事業名	いじめ問題対策費						
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実(教育行政の充実)					
	施策項目	(6) 各教育機関・他行政機関・団体との連携					
【事業概要】							
(1)対象	児童生徒						
(2)目的	教育委員会、学校、地域住民、家庭、その他の関係者の連携の下、いじめの防止、いじめの早期発見、いじめが発生した場合の対処等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	いじめ防止等に関する機関及び団体の連携を図るため、学校、教育委員会、児童相談所、法務局、警察その他の関係者により構成されるいじめ問題対策連絡協議会を設置する。 いじめの防止等のための対策を実効的に行うようにするため必要があるときは、いじめ問題対策審議会を設置する。						
(4)成果目標	いじめ問題対策連絡協議会を2回開催する。						
(5)根拠法令等	いじめ防止対策推進法 石垣市いじめ防止基本方針 石垣市いじめ問題対策連絡協議会設置条例 石垣市いじめ問題対策審議会規則						
【事業実績・目標】							
R元年度実績	決算額	34 千円		H30年度実績	決算額	35 千円	
<input type="checkbox"/> 教育委員会9月定例会 石垣市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱の承認 <input type="checkbox"/> いじめ問題対策連絡協議会 第1回会議(R1.10. 3) 委嘱状交付、会長・副会長選出 議事 ①学校におけるいじめ問題の現状及び取組について ②その他 <input type="checkbox"/> いじめ問題対策連絡協議会 第2回会議(R2.3.18) 議事 ①学校におけるいじめ問題の現状及び取組について 学校教育課指導主事、弁護士(講師) <input type="checkbox"/> 決算内訳 いじめ問題対策連絡協議会委員報酬 3,500円×8人×1回=28,000円 講師謝礼金 3,500円×1人×1回=3,500円				<input type="checkbox"/> いじめ問題対策連絡協議会 第1回会議(H30.10. 22) ①学校におけるいじめ問題の現状 ②その他 <input type="checkbox"/> いじめ問題対策連絡協議会 第2回会議(H31.3.26) ①学校におけるいじめ問題の現状及び取組 <input type="checkbox"/> 決算内訳 いじめ問題対策連絡協議会委員報酬 3,500円×10人×1回=35,000円  R2年度目標 予算額 283 千円 <input type="checkbox"/> いじめ問題対策連絡協議会 2回開催 <input type="checkbox"/> 予算内訳 ・いじめ問題対策連絡協議会委員報酬 3,500円×10人×2回=70,000円 ・いじめ問題対策審議会委員報酬 9,000円×6人×3回=162,000円 ・講師謝礼・旅費(県内) 51,000円			
【点検評価】							
区分	評価の説明					評価凡例	
内部評価	【成果・課題等】 計画通り連絡協議会を開催し、講師(弁護士)による講話も実施することができた。 いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応に取り組むためには、関係各機関の横の連携は欠かせないものであり、今後も、協議会が有効に機能するよう、日程調整や議題の選定等、関係各課と協力しながら、定期的な開催に努める必要がある。					S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいっ ていない (29%以下)	
	外部評価	いじめの未然防止、早期発見、早期対応のためにも、学校、家庭、地域住民、関係機関等が連携を図り、一体となって取り組んでいく必要があり、いじめ問題対策連絡協議会を開催し情報共有が図れたことは評価できる。地域住民がいじめを発見した際の相談先など啓発活動の強化を望みたい。					
	A						
	A						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	総務課	
事務事業名	大濱信泉記念館(指定管理者制度)				
施策体系	主要施策	1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現			
	施策項目	(2) 社会教育施設の利用促進及び事業の充実			
【事業概要】					
(1)対象	指定管理者				
(2)目的	指定管理者制度を利用し、大濱信泉記念館の管理を委託する。民間のノウハウにより人件費を含めた全体の経費削減を図り、市民サービスの質の向上を目的とする。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	大濱信泉記念館の管理業務を指定管理者に委託する。指定管理者は、市からの委託料及び施設利用料を収入源とし、記念館の管理・運営費に充てる。なお、大規模な修繕等が必要となった場合、費用は市の負担となる。				
(4)成果目標	施設利用者数 24,000人/年				
(5)根拠法令等	大濱信泉記念館設置条例				
【事業実績・目標】					
R元年度実績	決算額	4,160 千円	H30年度実績	決算額	4,992 千円
指定管理者:(株)ハブクリエイト 施設利用者数:24,508人/年 利用料収入:4,774,100円 指定管理料:4,000,000円			指定管理者:(株)ハブクリエイト 施設利用者数:23,087人/年 利用料収入:4,572,800円 指定管理料:4,000,000円		
※ 老朽化に伴いコンクリートはく離が複数箇所発見されたため、令和2年1月に消防の協力により、防護ネットを張り対応した。			※ 時計の撤去作業、駐車場舗装工事があったため、修繕費が例年より多くなった。		
		R2年度目標	予算額	4,319 千円	
			指定管理者:(株)ハブクリエイト 施設利用者数:24,000人/年 利用料収入:4,000,000円 指定管理料:4,000,000円		
			※ 令和2年4月1日時点での目標であるが、コロナ禍の影響により下方修正が必要である。		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善等】 新型コロナウイルス感染症の影響により、3月は利用者数が激減したとのことだが、年間を通しての利用者数、利用料収入ともに前年度を上回るなど、申し分ない実績を出している。また、これまでの電話予約、利用料金の銀行振込(又は窓口払い)であったものを、オンライン予約、オンライン決済を導入し、これまで以上に利用しやすい施設の実現を達成している。なお、今年度は指定管理者の更新の年にあたるが、新規指定管理者とは、これまでの3年契約から5年契約に延ばす予定である。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
外部評価	オンライン予約や決済など市民サービスの質の向上が図られ、利用者数、利用料収入も増えており大いに評価したい。今後も良質なサービスを提供できるよう指定管理者との協議を図っていただき、1階の展示室についても、早稲田大学の学生や関係者の来館を進めるなど、多くの人が訪れるような工夫を図ってもらいたい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】								
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	学務課				
事務事業名	学校給食費(学務)							
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実						
	施策項目	(3) 健やかな体の育成						
【事業概要】								
(1)対象	単独調理校(9校)							
(2)目的	単独調理校(9校)における調理員及び調理場の衛生管理を行う。							
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食食材検査、給食施設衛生検査(年1回)</li> <li>調理員腸内細菌検査(月2回)</li> <li>調理員作業衣等の支給</li> <li>消耗品及び燃料費(学校割当予算)</li> </ul>							
(4)成果目標	学校給食衛生管理基準で定められた各種検査及び検査結果に基づく講習会を行うことにより、単独調理校における安心安全な学校給食の提供に寄与する。							
(5)根拠法令等	学校給食法、学校給食衛生管理基準							
【事業実績・目標】								
R元年度実績	決算額	3,887 千円		H30年度実績	決算額	4,557 千円		
<ul style="list-style-type: none"> <li>食材及び施設衛生検査:(小)630千円、(中)815千円</li> <li>調理員腸内細菌検査:(小)75千円、(中)99千円</li> <li>作業衣等、消耗品、燃料費:(小)885千円、(中)1,358千円</li> <li>出張旅費:25千円</li> </ul> <p>平成31年4月15～17日の日程で給食食材及び施設衛生検査、令和元年7月29日に検査結果に基づく衛生管理講習会(28名参加)を行った。また、調理員20名に対し年間延べ436回の腸内細菌検査を行った。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>食材及び施設衛生検査:(小)625千円、(中)813千円</li> <li>調理員腸内細菌検査:(小)330千円、(中)435千円</li> <li>作業衣等、消耗品、燃料費:(小)979千円、(中)1,352千円</li> <li>出張旅費:23千円</li> </ul>		R2年度目標		予算額	4,587 千円	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>食材及び施設衛生検査:(小)659千円、(中)900千円</li> <li>調理員腸内細菌検査:(小)157千円、(中)228千円</li> <li>作業衣等、消耗品、燃料費:(小)1,113千円、(中)1,505千円</li> <li>出張旅費:25千円</li> </ul>				
【点検評価】								
区分	評価の説明				評価凡例			
内部評価	【成果・課題・改善等】 給食食材及び施設衛生検査、検査結果に基づく講習会について、計画どおり実施することが出来た。また、調理員の腸内細菌検査についても、学校給食衛生管理基準で定める月2回以上の検査を実施することが出来た。 施設衛生検査で指摘された施設及び設備の修繕等については、予算の確保を含め計画的に行う必要がある。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)			
	A							
外部評価	根拠法令に基づいて各種衛生検査や講習会を計画どおり実施するなど、安全・安心な学校給食の提供に努めており評価できる。必要な設備の修繕等については早期に対応してほしい。また、食育指導の推進のため、管理職会などを通じて栄養教諭の役割について認識を深めてもらい、積極的な活用を図ってほしい。							
	A							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】								
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	学務課				
事務事業名	学齢児就学対策費(新入学)							
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実						
	施策項目	(3) 健やかな体の育成						
【事業概要】								
(1)対象	新就学児童							
(2)目的	就学予定者の心身の状態を的確に把握し、保健上必要な勧告・助言を行うことにより適正な就学を図ることを目的とする。							
(3)目的達成のための手段(事業内容)	各小学校・幼稚園等で就学時健康診断(視力・聴力検査、内科・歯科検診)を実施。							
(4)成果目標	95%以上の受診率を目標とする。							
(5)根拠法令等	学校保健安全法							
【事業実績・目標】								
R元年度実績	決算額	1,141 千円		H30年度実績	決算額	1,030 千円		
<input type="checkbox"/> 対象児童数(視力・聴力) 617人 <input type="checkbox"/> 受診児童数(視力・聴力) 605人 <input type="checkbox"/> 受診率 98%  <input type="checkbox"/> 対象児童数(内科・歯科) 617人 <input type="checkbox"/> 受診児童数(内科・歯科) 616人 <input type="checkbox"/> 受診率 99%			対象児童数 564人 <input type="checkbox"/> 受診児童数 558人 <input type="checkbox"/> 受診率 99%					
			R2年度目標	予算額	1,662 千円			
			<input type="checkbox"/> 対象児童数 581人 <input type="checkbox"/> 受診率 95%以上					
【点検評価】								
区分	評価の説明						評価凡例	
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> 学校、幼稚園、保育所(園)、学校医、学校歯科医等の各関係機関の協力により、目標とする受診率を達成できていることは評価できる。 対象児童の状況を確認・把握し、受診勧奨に引き続き努めたい。						S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)	
	A							
外部評価	各関係機関連携のもと、目標を上回る受診率を達成できおり評価できる。受診率の更なる向上を図るため、家庭支援の取組を進めるとともに、各学校で全ての項目が受診できるなどの保護者の負担軽減を期待したい。							
	A							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	学校教育課	
事務事業名	学力向上対策費				
施策体系	主要施策	自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実 [学校教育の充実]			
	施策項目	(2) 確かな学力の向上			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市立小中学校				
(2)目的	本市の教育目標及び主要施策に基づき、児童生徒の発達を支援し、基礎学力の向上・定着、望ましい生活習慣の育成・助成を期するための諸活動、取組の実践・展開にあたる。本市児童生徒の自ら学ぶ意欲を育て、学力向上を目指すとともに、創造性に富む幼児・児童・生徒を育成する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種調査の実施と結果の分析(良さや課題の把握、授業改善への活用等)を活用する。</li> <li>各研修を通して、授業づくりの視点の確認や学びに向かう児童生徒・学校づくりに取り組む。</li> <li>家庭学習強化月間の推奨</li> </ul>				
(4)成果目標	各種調査の実施(全国学力・学習状況調査、標準学力調査・生活実態調査、中3学力調査)や研修会(2回)の実施等を通して、児童生徒の学び意欲を育て学力を向上させる。				
(5)根拠法令等					
【事業実績・目標】					
R元年度実績	決算額	6,070 千円	H30年度実績	決算額	5,968 千円
<input type="checkbox"/> 標準学力調査・生活実態調査(小2～中2) <input type="checkbox"/> 石垣市学力向上推進担当者研修会 <input type="checkbox"/> 教科を超えた授業改善研修会(中学校) <input type="checkbox"/> 夏休み基礎基本学習会(小・中学校) <input type="checkbox"/> 中3学力調査 <input type="checkbox"/> 信泉プロジェクト 「学びに向かう学校づくり生徒フォーラム(中)」 「石垣市算数・数学フェスティバル」小:71名・中:57名 <input type="checkbox"/> 家庭学習強化月間(年3回)			全国学力・学習状況調査において、小学校6年:国語・算数の正答率において、6年連続して全国平均を上回っている。 また、中学校3年:国語の正答率において、県平均に到達した。		
			R2年度目標	予算額	7,069 千円
			今年度よりスタートする、沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡにおける「学びの質を高める授業改善・学校改善」に拠り本市の取組を充実させる。 また、新たに各種検定料補助を実施し、学習意欲の高揚や受検機会の拡充を図る。また、生徒フォーラムを生徒による進行で実施し、生徒自身が主体的に取り組めるようにすることで、本市の学力向上を推進していく。		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善等】</b> 各調査(標準学力調査・生活実態調査、中3学力調査等)を通して、児童生徒の課題の把握や、授業改善に繋がる取組ができた。また、中学校での授業づくりにおいて、教科を越えて共通実践に取り組む学校が増えている。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)
外部評価	各種調査を通して、児童生徒の課題把握や授業改善に繋がる取組ができたことは評価できる。児童生徒の学ぶ意欲を育てる意味でも、自己肯定感や褒められているという意識を高めることが何より大切である。実態を新聞等に掲載するなどし、家庭・地域との積極的な連携を図ってほしい。				
	A				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	学校教育課	
事務事業名	研究指定校事業(小・中)				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(1) 豊かな心の育成			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市立小中学校				
(2)目的	本市における道徳教育の充実を図るため研究校を指定し、研究の成果を各学校に反映させることを目的として、研究指定校の事業を実施する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1校、中学校1校を指定する。指定期間は、2カ年とする。</li> <li>・研究発表会を開催し研究成果を公表するとともに、研究報告書を提出する。</li> <li>・最終年次は、「いしがき教育の日」にて紙面発表を行う。</li> </ul>				
(4)成果目標	<b>【1年目】</b> ・理論研究の実施 ・講師を招聘した研修等の実施(1回) ・研究授業の実施(2回) <b>【2年目】</b> ・講師を招聘した研修等の実施(1回) ・研究授業の実施(3回) ・研究報告書の作成 ・研究発表会の実施				
(5)根拠法令等	石垣市教育委員会道徳教育研究指定校実施要項				
【事業実績・目標】					
R元年度実績	決算額	296 千円	H30年度実績	決算額	343 千円
<b>【明石小学校】</b> <input type="checkbox"/> 理論研究 <input type="checkbox"/> 移動教育センター講座(道徳)受講 <input type="checkbox"/> 講師を招聘しての研修等の実施(3回) <input type="checkbox"/> 研究授業の実施(3回) <input type="checkbox"/> 道徳教育研究報告書の作成 <input type="checkbox"/> 道徳教育研究発表会の実施			<b>【石垣中学校】</b> <input type="checkbox"/> 研究授業の実施 <input type="checkbox"/> 研究報告書の作成 <input type="checkbox"/> 研究発表会の実施 <b>【明石小学校】</b> <input type="checkbox"/> 理論研究 <input type="checkbox"/> 講師を招聘しての研修等の実施 <input type="checkbox"/> 研究授業の実施		
<b>【大浜中学校】</b> <input type="checkbox"/> 理論研究 <input type="checkbox"/> 講師を招聘しての研修等の実施 <input type="checkbox"/> 研究授業の実施(3回) <input type="checkbox"/> 公開授業の実施(7回)			R2年度目標	予算額	348 千円
			<b>【大浜中学校】</b> <input type="checkbox"/> 研究授業の実施 <input type="checkbox"/> 研究報告書の作成 <input type="checkbox"/> 研究発表会の実施 <b>【登野城小学校】</b> <input type="checkbox"/> 理論研究 <input type="checkbox"/> 講師を招聘しての研修等の実施 <input type="checkbox"/> 研究授業の実施		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善等】</b> 理論研究、講師を招聘しての研修、研究授業の実施、研究報告書の作成、研究発表会が実施ができ、研究の成果を市立各小中学校に反映することができた。 次年度も、研究校からの資料の提供、研究授業や研究発表会の周知を積極的に行う。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	外部評価	道徳教育の充実を図るための積極的な取組みが感じられ、研究の成果を各小中学校に共有できたことは大いに評価できる。今後も家庭・地域との積極的な連携を図り、取組を推進してほしい。			
	A				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	学校教育課			
事務事業名	気になる子のすこやかな学びを支援する事業						
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実					
	施策項目	(5)特別支援教育の充実					
【事業概要】							
(1)対象	市立小中学校に在籍する児童生徒・保護者・教諭						
(2)目的	特別な支援を必要とする児童生徒に個別に対し、専門的立場から支援するために臨床心理士を雇用し、必要に応じて各学校に派遣し教育相談を行う。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	障がいのある児童生徒の早期支援に当たるため、臨床心理士による教育相談、心理検査等の計画的実施や相談者・教諭への継続的な支援を実施する。また、事後アンケートから相談に対する感想や満足度に対する評価・対応、関係機関と連携した取組を強化する。						
(4)成果目標	教育相談・心理検査等100件 相談に対する手立てや不安解消軽減等について事後アンケートにて評価を行う。						
(5)根拠法令等	石垣市臨床心理士の勤務条件等に関する要綱						
【事業実績・目標】							
R元年度実績	決算額	6,517 千円		H30年度実績	決算額	3,159 千円	
<input type="checkbox"/> 臨床心理士(2名) <input type="checkbox"/> 教育相談の実施 ・巡回相談 87件 ・心理検査 35件 <input type="checkbox"/> 事後アンケートによる満足度評価 アンケート結果では「相談により不安が解消・軽減されましたか」という設問に対し、回答者の98%から肯定的な回答を得た。			<input type="checkbox"/> 臨床心理士(1名) <input type="checkbox"/> 教育相談の実施 ・巡回相談 55件 ・心理検査 33件 <input type="checkbox"/> 事後アンケートによる満足度評価 アンケート結果では「相談により不安が解消・軽減されましたか」という設問に対し、回答者の95%から肯定的な回答を得た。			R2年度目標 予算額 8,391 千円	
			<input type="checkbox"/> 臨床心理士(2名) <input type="checkbox"/> 教育相談・検査件数 100件 臨床心理士による教育相談並びに心理検査の実施 <input type="checkbox"/> 事後アンケートによる満足度評価 アンケート結果では「相談により不安が解消・軽減されましたか」という設問に対し、回答者の95%からの肯定的な回答が目標				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	<b>【成果・課題・改善等】</b> 臨床心理士の雇用について、年度当初は1名の配置であったが、6月より2名を配置し本事業を実施する事ができた。また、市の教育支援委員会に申請にあがった児童生徒の心理検査を実施し、専門的立場からの見立てや助言ができています。				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度計画通り (50~69%) C:あまりうまくいっていない (30~49%) D:うまくいっていない (29%以下)		
外部評価	臨床心理士の2名配置により、相談件数の増加と併せて満足度の評価も向上しており、充実した支援が図られていることは高く評価したい。臨床心理士の確保が重要な課題であるが、高校の進路指導と連携し臨床心理士の育成を図るなど支援の拡充を図ってほしい。						
	A						
	A						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	学校教育課			
事務事業名	「学ぶ意欲・わかる授業」を支援する事業						
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]					
	施策項目	(2) 確かな学力の向上					
【事業概要】							
(1)対象	石垣市立小中学校						
(2)目的	学校教育支援員の配置、外国語学習支援員の派遣、また小中学校教諭を対象とした研修会等をとおして、本市児童生徒の学力向上を図る。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育支援員(授業時ならびに放課後学習支援)の配置</li> <li>・外国語学習支援員(英語指導支援)の派遣</li> <li>・学力先進地域から講師を招聘した授業改善研修会(小学校)の実施</li> </ul>						
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県学力到達度調査全体平均正答率:小学校60%以上、中学校50%以上</li> <li>・英語に興味・関心を持ったと回答した児童生徒の割合:80%以上</li> </ul>						
(5)根拠法令等	石垣市学校教育支援員設置要項 石垣市立小中学校外国語学習支援員設置要項						
【事業実績・目標】							
R元年度実績	決算額	82,744 千円		H30年度実績	決算額	95,184 千円	
<input type="checkbox"/> 市立小学校9校・中学校3校へ学校教育支援員を26名配置 <input type="checkbox"/> 市立小中学校へ外国語学習支援員を6名派遣 <input type="checkbox"/> 学校教育支援員オリエンテーション <input type="checkbox"/> 学校教育支援員研修会 <input type="checkbox"/> 小中外国語担当者研修会 <input type="checkbox"/> 英語指導力向上研修会 <input type="checkbox"/> 石垣市立小学校授業改善研修会 講師:岡本美穂教諭(大阪府東大阪市立小学校)				<input type="checkbox"/> 市立小学校9校・中学校3校へ学校教育支援員を32名配置 <input type="checkbox"/> 市立小中学校へ外国語学習支援員を6名派遣 <input type="checkbox"/> 学校教育支援員オリエンテーションを実施 <input type="checkbox"/> 小中外国語担当者研修会を実施 <input type="checkbox"/> 英語指導力向上研修会を実施			
				R2年度目標	予算額	109,669 千円	
				<input type="checkbox"/> 市立小学校9校・中学校3校へ学校教育支援員を32名配置 <input type="checkbox"/> 市立小中学校へ外国語学習支援員を6名派遣 <input type="checkbox"/> 学校教育支援員オリエンテーション <input type="checkbox"/> 学校教育支援員研修会 <input type="checkbox"/> 小中外国語担当者研修会(中止) <input type="checkbox"/> 英語指導力向上研修会			
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	<b>【成果・課題・改善等】</b> 沖縄県学力到達度調査の全体平均正答率は、小学校58%、中学校49%と目標数値に達しなかった。授業改善・学習支援におけるさらなる強化が必要である。 「英語が楽しい」との回答は80%、「まあまあ楽しい」が19%あり、肯定的な評価が得られた。引き続き、英語学習における支援を継続していきたい。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)		
	A						
外部評価	学力向上に向けて各支援員を配置し、研修等を実施していることは評価できる。今後も沖縄県学力到達度調査の結果を分析し、授業改善や学習支援に取り組むとともに、退職教員を活用するなど支援員の増員を図りつつ連携を密にして事業を推進してほしい。						
	A						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	学校教育課	
事務事業名	情報教育充実事業(沖振交)				
施策体系	主要施策	3 多様化、高度化する社会の変化に対応した教育の推進(国際社会・情報社会等への対応)			
	施策項目	(4) 情報教育の推進			
【事業概要】					
(1)対象	市立小学校・中学校に在籍する児童・生徒・教職員				
(2)目的	社会的に情報化が進んでいることを鑑み、学校教育においても、ICT教育環境整備のほか、教員のICTを活用した指導力の向上を図り、児童生徒に対する授業や教育活動全般にICTを活用できるよう支援を行う。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員による、各学校への計画訪問、要請に対する訪問等、巡回支援を行う。 <input type="checkbox"/> 学校ICT支援員によるICT活用に関する教員研修を実施する。 <input type="checkbox"/> 授業におけるICT活用のためデジタル教科書等の教材整備を行う。 <input type="checkbox"/> ICTの円滑且つ安定的な活用のため、校内のICT環境整備ならびに管理を行う。				
(4)成果目標	<input type="checkbox"/> ICT機器活用率 90%以上 <input type="checkbox"/> 授業におけるICT活用に関して児童・生徒の肯定的評価を80%以上を得る				
(5)根拠法令等	<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員派遣事業実施要綱 <input type="checkbox"/> 学校ICT支援員の勤務条件等に関する要綱				
【事業実績・目標】					
R元年度実績	決算額	31,792 千円	H30年度実績	決算額	14,398 千円
<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員配置(4名) ・学校訪問によるICTに関する支援業務 <input type="checkbox"/> デジタル教科書(中学英語)整備 <input type="checkbox"/> 問題データベース継続整備(全小・中学校) <input type="checkbox"/> ICT活用定期研修会 7回実施 <input type="checkbox"/> 校内ネットワーク環境整備 単独中学校5校 <input type="checkbox"/> ICT機器活用率 小:96%/中:96% <input type="checkbox"/> 児童・生徒の肯定的評価 小:88%/中:89%			<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員(4名)・学校訪問による各種支援業務 <input type="checkbox"/> デジタル教科書(中学校9校:英語)整備 <input type="checkbox"/> 問題データベース継続整備(全小・中学校) <input type="checkbox"/> ICT活用定期研修会 7回 <input type="checkbox"/> ICT機器活用率 小:96%/中:94% <input type="checkbox"/> 児童・生徒の肯定的評価 小:86%/中:91%		
			R2年度目標	予算額	24,857 千円
			<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員(4名):学校訪問による各種支援業務 <input type="checkbox"/> デジタル教科書(中学英語/小学主要5教科)整備 <input type="checkbox"/> 問題データベース継続整備(全学校) <input type="checkbox"/> ICT活用定期研修会 7回 <input type="checkbox"/> ICT機器活用率 90%以上 <input type="checkbox"/> 児童・生徒の肯定的評価 小・中:80%以上		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善等】</b> ICT教育環境整備としては、デジタル教科書等の整備、ICT活用定期研修会を計画通り実施した。また、単独中学校の校内ネットワーク構築を行った。教員によるICT機器活用率は、前年度と同程度であったが、ICT機器の操作に不安を感じる意見もあることから、今は授業における具体的な活用に関して、さらに支援を行っていきたい。また、文部科学省が示しているGIGAスクール構想により、児童生徒1人1台の端末機器整備が求められ、学校における機器数が劇的に増加することから、学校現場を混乱させないため、市としての方針を策定・周知・円滑な導入に向け堅実な取組みを行いたい。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	外部評価	デジタル教科書等の整備や校内ネットワークの構築、教員のICT活用指導力の向上など、ICT教育環境の充実が図られており評価できる。GIGAスクール構想では子ども達の学習環境の格差が生じないよう方針をしっかりと立て取組を推進してほしい。			
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	いきいき学び課		
事務事業名	子ども若者総合相談支援事業					
施策体系	主要施策	4. 地域を誇りにし、大切に思う健全な青少年の育成[青少年の健全育成]				
	施策項目	(5) 子ども若者自立支援の推進				
【事業概要】						
(1)対象	0歳～39歳の石垣市に居住する社会生活を円滑に営む上で困難を有する児童生徒及び若者					
(2)目的	困難を抱える子ども若者や関係者のニーズを的確に把握し、教育、福祉、医療雇用等の専門的機関等へ確実につなぐこと。 義務教育期以降に家庭や社会で孤立する若者を発見し、見守ると同時に適切な時期に適切な支援が行えるよう誘導すること。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	不登校児童生徒、義務教育修了後の進路未決定者及びひきこもり等について、ユースアドバイザー及びスーパーバイザーが相談、登校支援、進路・学習支援、就学・就労支援を行う。 ユースアドバイザーが、支援を要する若者及び保護者と関係機関等(市役所、福祉保健所、障害者施設等)を繋ぎ、連携し、具体的な支援、並びに調査研究・研修・広報を行う。					
(4)成果目標	ニートやひきこもり等の義務教育修了者の就学・就労 不登校児童生徒の学校復帰					
(5)根拠法令等	子ども若者育成支援推進法、石垣市子ども若者支援地域協議会設置要綱、石垣市青少年センターユースアドバイザー設置に関する要領、石垣市子ども若者総合相談窓口相談業務等のスーパーバイザー設置に関する規則					
【事業実績・目標】						
R元年度実績	決算額	11,559 千円		H30年度実績	決算額	千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数40件(新規20件、継続20件)</li> <li>相談結果(他機関へ引継ぎ4件、終結20件のうち、就学・就労15件、継続16件)</li> <li>個別相談会(4回実施)、スーパーバイズ(10回実施)</li> </ul>			H30年度まではユースアドバイザー事業と、子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業の別々の事業があり、『予算・実績』は別々に管理されていた。令和元年度より事業統合された為、実績値なし。			
			R2年度目標	予算額	12,729 千円	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○支援対象件数30件以上(子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業の過去5年間新規受付件数140件を5で割り、28件を切上げ)</li> <li>○児童生徒の学校復帰及び若者の就学・就労8件以上(ユースアドバイザー事業H30年度の実績7件より上)</li> <li>○個別相談会4回実施○スーパーバイズ10回実施</li> </ul>			
【点検評価】						
区分	評価の説明				評価凡例	
内部評価	<b>【成果・課題・改善等】</b> 支援者やその保護者に対して長期的に親身に寄り添うことで、その家族に心理的余裕が生まれ、集団適応や学校復帰等のプラスの変化がみられるようになり、児童生徒の学校復帰及び若者の就学・就労15件となった。本事業に係る案件は終結に数年かかることも珍しくない為、今後も、社会全体や関係機関との繋がりを切らさない支援を展開していく必要がある。				S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (70～100%) B: ある程度計画通り (50～69%) C: あまりうまくいっていない (30～49%) D: うまくいっていない (29%以下)	
	A					
外部評価	ユースアドバイザーが長期にわたって支援者に親身に寄り添った結果、学校復帰や就学就労など15件もの成果が出ており評価できる。今後も保護者ニーズを的確に把握し、多分野が連携した総合的な支援を継続するためにも臨床心理士の増員を図ってほしい。					
	A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	不登校対策等支援員配置モデル事業				
施策体系	主要施策	4. 地域を誇りにし、大切に思う健全な青少年の育成[青少年の健全育成]			
	施策項目	(6) 不登校対策支援の推進			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市立小学校並びに中学校から選定された2校				
(2)目的	不登校の未然防止や早期発見・早期対応を図るため、スクールライフサポーターを学校に配置する。また、あわせて教室に入ることの出来ない児童生徒に対して、学校内で孤立することがないように、居場所づくり等、学校と協力し必要な支援を実施する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童生徒等の登校支援や家庭訪問</li> <li>・不登校児童生徒等の学校内における学習支援及び教育相談</li> <li>・不登校児童生徒及び保護者や教職員等に対する相談、支援、情報の提供</li> <li>・進級、進学等に伴う家庭、小学校、中学校との連携支援</li> <li>・不登校児童生徒等の屋外体験活動や職場体験活動の支援</li> <li>・ケース会議や生徒指導部会、教育相談部会等への参加や関係機関及び団体等とのネットワークの構築、連携等</li> </ul>				
(4)成果目標	不登校児童生徒の学校復帰				
(5)根拠法令等	石垣市不登校対策等支援員配置モデル事業実施要綱・要項				
【事業実績・目標】					
R元年度実績	決算額	5,502 千円	H30年度実績	決算額	5,400 千円
<p>●<b>小学校</b> 支援対象1～6学年・支援児童数122名(欠席30日未満の登校しぶり児童含む。登校支援30名、家庭訪問13名、教育相談9名、学習支援14名、体験学習7名、その他49名)・延べ支援回数1,201回(登校支援504回、家庭訪問65回、教育相談13回、学習支援165回、体験活動14回、その他440回)                      ・不登校率1.69%【不登校者数(6)÷モデル校全児童数(353)】                      ※ 別室を用意して居場所作りはできたが、対応できる先生が足りず登校定着に繋がっていない為、改善が必要。不登校者数は横ばいであるが、全校児童数が前年より減少した為、率は軽微増。</p> <p>●<b>中学校</b> 支援対象1～3学年 支援生徒数14名(欠席30日未満の登校しぶり児童含む。登校支援4名、家庭訪問6名学習支援4名)・延べ支援回数478回(登校支援154回、家庭訪問248回、学習支援70回、体験活動0回、その他6回)・不登校率4.34%【不登校者数(24)÷モデル校全生徒数(552)】                      ※ 対象学年を割振り、学校と連携してきめ細かい支援を行うことで不登校率の改善に繋がった。</p>		<p>●<b>小学校</b> 支援児童数52名(登校支援28名、家庭訪問9名、学習支援6名、体験活動2名、その他7名)・延べ支援回数482回(登校支援425回、家庭訪問21回、学習支援22回、体験活動3回、その他11回)                      ・不登校率1.35%【不登校者数(5)÷モデル校全児童数(368)】</p> <p>●<b>中学校</b> 支援生徒数23名(登校支援7名、家庭訪問6名、学習支援7名、その他3名)・延べ支援回数348回(登校支援103回、家庭訪問192回、学習支援35回、体験活動13回、その他5回)                      ・不登校率6.8%【不登校者数(35)÷モデル校全生徒数(517)】</p>			
		R2年度目標	予算額	6,289 千円	
		スクールライフサポーターを配置したモデル校の不登校率:小学校1.35%以下、中学校4.34%以下			
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善等】 H30年度の課題であった別室の確保が配置校の小学校・中学校ともにでき、教室に入る事が困難な児童生徒の気持ちを和らげる事ができた為、特に小学校では支援回数を大幅に増やすことができた。また、中学校では対象学年を2・3学年に絞り、きめ細かい支援が行えた為改善の傾向がみられた。しかし、特に小学校では別室で対応できるマンパワーの不足が児童の学校定着に繋がらなく、不登校率の横ばいの要因の一つとして考えられる。今後は別室で対応できる先生について、学校現場単位での調整が求められる。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	課題であった別室の確保が小中学校で図られ、中学校においてきめ細かい支援を行えたことは評価できる。しかし、小学校においては対応できる教員の不足により十分な支援ができなかったのは残念である。人材バンク等の活用やスクールライフサポーターの増員を図ってほしい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	文化財課	
事務事業名	文化財保護啓発費				
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展(文化の継承・発展)			
	施策項目	(1) 文化財の保存と活用			
【事業概要】					
(1)対象	市民				
(2)目的	地域の自然や歴史、文化を学習するとともに、文化財の保護啓発及び活用を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民を対象に、自然観察会、戦跡めぐり、文化財めぐり等の啓発事業を実施する。</li> <li>・開発等で指定文化財に影響が及ばないよう、定期的にパトロールを行なう。</li> </ul>				
(4)成果目標	・自然観察会、戦跡めぐり、文化財めぐりの実施(各事業参加者20名)				
(5)根拠法令等	文化財保護法、沖縄県文化財保護条例、石垣市文化財保護条例				
【事業実績・目標】					
R元年度実績	決算額	860 千円	H30年度実績	決算額	1,216 千円
<input type="checkbox"/> 市民対象の啓発事業等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察会 市民11名参加</li> <li>・戦跡めぐり 市民20名参加</li> <li>・文化財めぐり 市民22名参加</li> <li>・アサヒナキマダラセセリ他天然記念物保護パトロール 市民ボランティアや関係機関と連携して実施</li> <li>・文化財防火デー 消防や関係者と連携し消火訓練を実施</li> </ul> <input type="checkbox"/> 定期的に文化財パトロールを実施			<input type="checkbox"/> 市民対象の啓発事業等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察会 市民23名参加</li> <li>・戦跡めぐり 市民20名参加</li> <li>・文化財めぐり 市民24名参加</li> <li>・アサヒナキマダラセセリ他天然記念物保護パトロール</li> <li>・文化財防火デー</li> </ul> <input type="checkbox"/> 文化財境界確認(業務委託) <input type="checkbox"/> 備品購入(ホイスルコーダー他)		
			R2年度目標	予算額	1,077 千円
			<input type="checkbox"/> 市民対象の啓発事業等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察会、戦跡めぐり、文化財めぐりの開催</li> <li>・アサヒナキマダラセセリ他天然記念物保護パトロール</li> <li>・文化財防火デー</li> </ul> <input type="checkbox"/> 定期的に文化財パトロールを実施		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善等】</b> 市民を対象にした文化財を現地で見聞学習することは非常に有効な活用法である。アサヒナキマダラセセリ他天然記念物の保護活動として市民ボランティアを組織し、関係機関と連携した活動は本市の持つ自然環境の保全に資するものとして評価できる。文化財(木造建造物)を火災から守るため、消防本部と連携した訓練は、万一の際、円滑な消火活動を行うために重要である。また、関係者による消火器の扱い方訓練は、初期消火に生かされる訓練であった。				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	A				
外部評価	市民対象の啓発事業を計画どおり実施しており評価できる。継続した事業の実施が文化財保護への理解を広め、市民ボランティア組織と連携した活動へと繋がっている。引き続き啓発事業の推進を図るとともに、文化財めぐりなどは、若年層の参加が増える取組を検討してほしい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	文化財課			
事務事業名	フルスト原遺跡保存修理事業						
施策体系	主要施策	6.豊かな感性を育む文化の継承と発展〔文化の継承・発展〕					
	施策項目	(1)文化財の保存と活用					
【事業概要】							
(1)対象	市民、観光客						
(2)目的	国指定史跡フルスト原遺跡の整備を行い有効的な活用を図る。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	国庫補助金を利用して、これまでの調査で出土した遺物の整理を行う。						
(4)成果目標	石積測量と出土品の整理を行い発掘調査報告書としてまとめる。						
(5)根拠法令等	文化財保護法						
【事業実績・目標】							
R元年度実績	決算額	9,017 千円		H30年度実績	決算額	11,343 千円	
石積平面測量(195㎡)と出土品の整理(第1～15号石罫)を実施し、発掘調査報告書(300部)を刊行することができた。			石積立面測量(257.194㎡)と出土品の整理(陶磁器、獣魚骨、土器)を実施した。また、整理(陶磁器、獣魚骨、土器)に関する整理は、島外より専門家を招聘し指導、助言を受けながら進めた。				
			R2年度目標	予算額	6,096 千円		
			遺構標示看板等の設置(6基)と整備図面を整理し、整備報告書(300部)を刊行する。				
【点検評価】							
区分	評価の説明						評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 復元後の石積の測量を行い現在の状況を記録することは、石積崩落の際、有効的な復旧作業に資することとなる。 これまでの発掘調査による膨大な出土品の整理・研究を経て報告書を刊行したことは遺跡の詳細な年代及び文化内容を理解するのに重要であり、国指定史跡を内外に広く紹介することになり、評価は高い。						S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A						
外部評価	長期計画に沿って着実に事業を推進し、貴重な発掘調査報告書を発刊することで国指定史跡を内外に広く紹介できたことは高く評価できる。今後は広報活動を充実させ、多くの方が報告書を見ることができるよう工夫を図ってもらいたい。						
	A						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	文化財課	
事務事業名	真栄里古墓群発掘調査事業				
施策体系	主要施策	6.豊かな感性を育む文化の継承と発展〔文化の継承・発展〕			
	施策項目	(2)埋蔵文化財の保存と活用			
【事業概要】					
(1)対象	市民				
(2)目的	開発計画に伴う発掘調査				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	発掘調査及び資料整理を実施し報告書としてまとめる。				
(4)成果目標	古墓6基の発掘調査を終了する。				
(5)根拠法令等	文化財保護法				
【事業実績・目標】					
R元年度実績	決算額	5,839 千円	H30年度実績	決算額	千円
発掘調査(古墓6基)を終了することができた。発掘調査では人骨の他、多くの副葬品、供献品が得られた。 また、発掘調査終了後に確認された石灰岩塊(津波石)の保存について協議し、開発に支障のない1個を保存することができた。					
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> 石灰岩塊の岩陰を利用した古墓6基の発掘調査を円滑に進めることができた。当初、計画には無かったが、石灰岩塊そのものが津波石と想定できた為、付着しているサンゴ化石の科学分析費用を事業計画者と別途協議し、予算化を行うとともに、津波石の現地保存に繋がったことは評価できる。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	S				
外部評価	迅速に発掘調査を実施し、人骨や貴重な副葬品等が得られたことは大きな成果である。併せて計画には無かった石灰岩塊の科学分析を行い、津波石であることを確認し現地保存へと繋がったことは高く評価できる。今後は津波石について広報活動を図り、内外に広く紹介してほしい。				
	S				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	市史編集課	
事務事業名	石垣市史 戦後開拓移民 編集・発刊事業				
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展〔文化の継承・発展〕			
	施策項目	(6)市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供			
【事業概要】					
(1)対象	市民				
(2)目的	『石垣市史』の「戦後開拓移民編」。戦後、石垣島の北西部を中心に開拓を目的とした計画移民の記録を後世に残す。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣市史戦後開拓移民小委員会の開催</li> <li>・石垣市及び沖縄県行政記録の調査</li> <li>・関係市町村・関係機関への資料収集と調査</li> <li>・関係者への聞き取り調査</li> </ul>				
(4)成果目標	戦後の石垣島開拓移民に関する記録を後世に残すため、『石垣市史 戦後開拓移民編』として出版し、市民の活用に供する。				
(5)根拠法令等	石垣市附属機関設置条例 石垣市市史編集委員会規則				
【事業実績・目標】					
R元年度実績	決算額	170 千円	H30年度実績	決算額	0 千円
<input type="checkbox"/> 開拓移民編小委員会の開催・・・目標:3回 実績:1回(2月開催) <input type="checkbox"/> 関係市町村へ資料収集・調査・・・目標2回 実績2回(10月、3月、読谷村、豊見城市、沖縄市、大宜味村、うるま市、県立図書館、県公文書館)			R2年度目標 予算額 1,035 千円 <input type="checkbox"/> 開拓移民編小委員会の開催(3回) <input type="checkbox"/> 関係市町村への資料収集の実施 <input type="checkbox"/> 有識者へ原稿執筆依頼		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善等】</b> 戦後開拓移民小委員会を1回開催した。また、本事業に関係する県内他市町村や機関への資料収集と調査を行った。当初、予定していた回数の戦後開拓移民小委員会を開くことができず、事業全体として大きな進展をみなかった。 石垣島に計画移民として移住された方々は、高齢となり、聞き取り調査が難しい状況にある。本事業には時間的な制約が伴うことをふまえ、今後、精力的に調査を行い、本書の発刊に結びつけたい。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	外部評価	戦後の石垣島開拓移民に関する記録を後世に残すことはとても重要である。事業の進捗状況が全体的に遅れており、移住された方の現状を考えると早急に聞き取り調査を行う必要がある。遅れた原因を再検証し、至急組織の充実を図り、積極的に取り組んでほしい。			
	B				
	C				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	市史編集課			
事務事業名	「市政のあゆみ(平成版)」編集・発刊事業						
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展〔文化の継承・発展〕					
	施策項目	(6)市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供					
【事業概要】							
(1)対象	市民						
(2)目的	主に、平成期の石垣市の行政のあゆみを『市政のあゆみ2』(仮称)としてまとめる。今後、各分野での資料として活用されることを目的とする。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料として有用な写真、行政資料等のスキャニング・デジタル化</li> <li>有識者へ原稿執筆依頼</li> <li>市各部署と連携し、原稿執筆および編集作業を行う</li> </ul>						
(4)成果目標	既刊の『市政のあゆみ』に続くものとして、昭和末期から平成期の石垣市の動静を『市政のあゆみ2』としてまとめ、市民や市各部署での活用にする。						
(5)根拠法令等	石垣市附属機関設置条例 石垣市史編集委員会規則						
【事業実績・目標】							
R元年度実績	決算額	895 千円		H30年度実績	決算額	329 千円	
<input type="checkbox"/> 石垣市撮影写真資料のスキャニング・デジタル化委託・・・420枚 <input type="checkbox"/> 石垣市行政資料(「広報いしがき」、「市町村合併だより」)のスキャニング・デジタル化委託・・・3,822枚 <input type="checkbox"/> 有識者への原稿執筆依頼			<input type="checkbox"/> 石垣市撮影写真資料のスキャニング・デジタル化委託・・・1,000枚			R2年度目標 予算額 830 千円	
			<input type="checkbox"/> 写真資料、行政資料等のスキャニング・デジタル化委託 <input type="checkbox"/> 市政のあゆみ刊行委員会の開催 <input type="checkbox"/> 市各部署への原稿作成依頼および編集作業 <input type="checkbox"/> 有識者への原稿執筆依頼				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	<b>【成果・課題・改善等】</b> 本書を編集する際に参考資料となる「広報いしがき」や「市町村合併協議会だより」、写真資料のデジタル化を行った。資料のデジタル化は、副次的に資料の保存を図ることができ、将来の活用を容易にするものと期待できる。また、「市政のあゆみ2」刊行委員会設置要綱を策定し、刊行に向けて庁内の体制作りを行った。今後、適宜、刊行委員会を開催し、令和4年度末の刊行に向けて取り組んでいく。				S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (70～100%) B: ある程度 計画通り (50～69%) C: あまりうまく いない (30～49%) D: うまく いない (29%以下)		
	A						
外部評価	40年間の歩みをまとめる作業は大変だが貴重な資料になる。写真資料のデジタル化、有識者への原稿執筆依頼を実施できたことは評価できる。資料のデジタル化は保存や活用の点からも大変重要であり、公開により市民が気軽に閲覧でき、歴史に触れる機会が増えるなど有意義である。編集体制を充実させ、目標年度に発刊できるよう取り組んでほしい。						
A							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】										
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	博物館						
事務事業名	企画展等の開催(展示普及整理保存費)									
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]								
	施策項目	(7)博物館事業の充実								
【事業概要】										
(1)対象	一般市民、観光客									
(2)目的	所蔵している資料を整理、保存するとともに、博物館が持つ貴重な資料を市民や観光客等の来館者に公開することで、活用を図る。									
(3)目的達成のための手段(事業内容)	・年2～3回の企画展、ロビー展等を開催する。									
(4)成果目標	・所蔵資料をより多くの方に公開する。 ・博物館内での展示会を開催し、来館者増に努める。									
(5)根拠法令等	博物館法、石垣市立八重山博物館設置条例									
【事業実績・目標】										
R1年度実績	決算額	1,060 千円		H30年度実績	決算額	428 千円				
<input type="checkbox"/> 事業内容 ①企画展「没後20年國吉清尚回顧展」 ・期間 令和元年5月10日(金)～26日(日) ・観覧者数 454名 ・図録の作成及び販売(フルカラー・450部印刷) ・関連イベントとして、博物館文化講座を開催			<input type="checkbox"/> 事業内容 ①特別展「白保4号人骨～甦った日本最古の顔～」 ・期間 平成30年7月20日(金)～29日(日) ・来館者 907名 ・沖縄県立埋蔵文化財センターとの共催事業 ②ロビー展「民具・アンツク作り」受講生作品展 ・期間 平成30年11月24日(土)～12月1日(土)			R2年度目標		予算額	453 千円	
			<input type="checkbox"/> 事業内容 ①企画展「新収蔵品展」 ・期間 8月下旬から開催予定 ②特別展「手わざー琉球王国の文化ー」 ・期間 12月6日(日)～12月20日(日) 予定 ・沖縄県立博物館・美術館との共催事業 ③ロビー展(民具・アンツク作り受講生作品展)							
【点検評価】										
区分	評価の説明				評価凡例					
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> 令和元年度の展示会等の開催については、5月に企画展は開催できたが、その後、博物館施設(多目的トイレ)の改修工事や年度末の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、開催を見送ったものもあった。しかしながら、5月の企画展では、当館所蔵資料を中心に、他館、個人から借用した資料も含めて展示することができ、所蔵資料を広く公開し、活用するという目的について実行できた。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)					
外部評価	沖縄の陶芸家、故・國吉清尚の没後20年を機に氏の回顧録を開催し、多くの市民が素晴らしい作品を堪能できた意義は大きい。所蔵品を中心に他館及び個人から借用した資料を展示するなど、博物館がもつ社会教育の場としての機能を高める努力も評価できる。開催を見送った企画もあったとのことだが、今後は、児童・生徒にインパクトのある展示会を企画してほしい。									
	B									

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)	主管課	学校給食センター		
事務事業名	調理業務等民間委託業務				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実【学校教育の充実】			
	施策項目	(4) 食育の推進			
【事業概要】					
(1)対象	給食センターにおける調理業務等の作業部門				
(2)目的	国の学校給食の運営の合理化推進及び本市の行政改革大綱に基づき 給食センター調理業務等を民間委託し、民間の技術と専門性を活用して安心、安全な給食の提供と給食センターの合理化及び安定化を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	食材の下処理、調理作業、配缶、配送、回収、食器具洗浄・保管、衛生管理、施設清掃等の業務を民間委託し、委託業務の円滑な運営の維持及び給食業務の向上のために、評価と検証を行なう。				
(4)成果目標	平成29年(2017年)8月よりスタートした調理業務等民間委託業務(3年間長期継続契約)の3年目にあたり、更に運営の安定化を図る。また、契約期間終了の前年度により、次年度以降の契約にかかる業務を計画的にすすめる。				
(5)根拠法令等	「学校給食の運営の合理化について」(昭和60年文部省通達)等、「第6次石垣市行政改革大綱」(平成22年6月策定)、「第4次石垣市定員適正化計画」(平成23年制定)等				
【事業実績・目標】					
R元年度実績	決算額	123,334 千円	H30年度実績	決算額	122,202 千円
・平成31年4月～令和2年3月(8月は除く) 給食調理日数：196日 給食提供食数：984,062食  10月～ 次年度からの契約にかかる業務計画、予算にかかる見積依頼業者の選定及び積算業務  1月～3月 調理業務等委託検証委員会開催(2回開催) 調理業務等委託検証のため児童生徒・教職員・保護者等へアンケート実施(アンケート：2,069人) 各学校へ検証結果報告書送付及びHP公表 委託事業受託希望業者等への説明会 (新型コロナウイルス感染症防止のため中止)		・平成30年4月～平成31年3月(8月は除く) 給食調理日数：196日 給食提供食数：982,240食  ・調理業務等委託検証委員会開催(3回開催) ・調理業務等委託検証のため児童生徒・教職員・保護者等へアンケート実施(アンケート：2,150人)			
		R2年度目標	予算額	126,360 千円	
		4月～7月：41,503千円(3ヵ月)3年間長期継続契約 8月～3月：84,857千円(8ヵ月)5年間長期継続契約 ・調理業務等委託業者選定委員会の開催 ・委託業者の公募による委託業者選定業務 ・選定内容及び公募結果の公表 ・委託業者と委託契約内容及び覚書の協議と締結 ・調理業務等民間委託開始(委託期間：5年間)			
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善等】 民間委託に関する調査及び検証の結果、安全で安心な学校給食提供のため、安定して運営ができているとの評価を得ることができた。また、契約期間満了の前年度のため、契約にかかる準備を計画どおりにすすめることができた。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	受託者の専門的な知識や技術により、安全安心で美味しい給食が提供されており、地産地消への取組も評価できる。また、検証のためのアンケート結果を様々な広報媒体を活用し公表している点も評価が高い。今後もバランスが良く、児童生徒が楽しめる給食の提供を受託業者と計画的に進めてもらいたい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	石垣市立図書館			
事務事業名	図書館充実費事業						
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]					
	施策項目	(8) 図書館活動の充実					
【事業概要】							
(1)対象	市民						
(2)目的	市民の生涯学習の充実と向上のため、より親しみやすい図書館サービスを目指す。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	年約30回の読書案内展示、広報いしがき、ホームページによる広報。図書館だより一般向け「南風」児童向け「こっかーら」の毎月発行。毎週土曜日の幼児対象絵本読み聞かせ会と月1回の乳児対象読み聞かせ会。さんさんラジオ月1回の読み聞かせ他。毎月2回の古文書学習会“耳学問の会”開催。毎月1回の映画鑑賞会“シネマたいむ”開催。市民に必要とされる図書の選定と購入等。学校図書館の支援。地域と読書推進のための連携を図る。						
(4)成果目標	生涯学習の場として、乳児から大人まで幅広い多くの市民に図書館サービスを利用していただく。						
(5)根拠法令等	図書館法 子どもの読書活動の推進に関する法律						
【事業実績・目標】							
令和元年度実績	決算額	30,847 千円		H30年度実績	決算額	30,584 千円	
○職員数 再雇用2人、嘱託職員司書5人 賃金職員 4人 ○購入図書 6,142冊 ・一般書 1,818冊 ・児童書2,106冊 ・郷土書 455冊 ・雑誌1,690冊 ・AV 73点 ○主な定例行事 読書案内展示 27展示 講演会 0回 (2回の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止) 読み聞かせ会 65回(幼児対象56回 乳児対象9回) 学習会 16回 (古文書勉強会) さんさんラジオ読み聞かせ 12回 ○広報 「広報いしがき」による広報 12回 図書館だより「南風」発行 12回 児童室だより「こっかーら」発行 12回 ホームページ、ポスター掲示などによる広報 随時			○職員数 再雇用1人 嘱託職員司書5人 賃金職員4人 ○購入図書 6,269冊 ・一般書 1,395冊 ・児童書2,709冊 ・郷土書415冊 ・雑誌1,716冊 ・AV34点 ○主な定例行事、広報については令和元年度とほぼ同様の事業内容である。				
			R2年度目標	予算額	32,826 千円		
			○職員数 再雇用2人、会計年度職員9人 ○図書購入については、予算が前年度並みであることから、6,000冊前後と予想される。 ○主な定例行事については、前年度と同様の計画を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、休館があるなどし、今後変動することが予想される。				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> 予算のほぼ全てを執行している。講演会は2回予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、休館となったことから中止となった。その他はほぼ予定通り実施している。活動目標、成果目標に向けて適正であったと考える。				S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (70~100%) B: ある程度 計画通り (50~69%) C: あまりうまくいっていない (30~49%) D: うまくいっていない (29%以下)		
外部評価	限られた人員と経費の中で、市民ニーズに応えるため様々な取組を実施されており、職員の熱意が感じられる。また、広報活動も地元新聞等を含め盛んに行われており評価できる。図書館は知識の宝庫であり、市民に必要とされる図書の選定についても情報を適切に把握するとともに、図書購入費の充実を継続的に図ってもらいたい。						
	A						
	A						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和2年度(令和元年度事業)		主管課	石垣市立図書館			
事務事業名	特別企画展「マンガ」展、「琉球大学八重山芸能研究会資料展「八重芸-五十年の足跡-」						
施策体系	主要施策	5家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]					
	施策項目	(8)図書館活動の充実					
【事業概要】							
(1)対象	一般市民						
(2)目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界からも注目される日本のマンガ文化を、展示会を通して市民により身近に感じてもらう。</li> <li>特色ある琉球大学八重山芸能研究会の活動足跡を紹介し、郷土の芸能文化を多面的に紹介する。</li> </ul>						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化庁メディア芸術祭マンガ部門受賞作と共に、マンガ書籍を戦前からの日本年表と対比できるように展示し、マンガに関するアンケート結果を展示するなどして市民により身近にマンガ文化を感じてもらう。</li> <li>平成31年で活動を終了した琉球大学八重山芸能研究会の資料寄贈を受け、衣装や道具を展示し、活動の足跡を紹介する。</li> </ul>						
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンガ文化への理解を深め、マンガも取り入れた図書館サービスを市民に知っていただく。</li> <li>50年間活動を続けた琉球大学八重山芸能部の足跡紹介を通して、八重山の芸能文化について興味関心を高める機会にする。</li> </ul>						
(5)根拠法令等	図書館法						
【事業実績・目標】							
R元年度実績	決算額	—	千円	H30年度実績	決算額	—	千円
<b>特別企画展示「マンガ！！」</b> 期間:令和元年12月14日～28日 会場:石垣市立図書館展示室 広報:ポスター、新聞記事、「広報いしがき」、ホームページ、図書館だより「南風」。 来場者数:約350名 <b>琉球大学八重山芸能研究会資料展「八重芸-五十年の足跡-」</b> 期間:令和2年2月1日～3月1日 会場:石垣市立図書館展示室 広報:ポスター、新聞記事、「広報いしがき」、ホームページ、図書館だより「南風」 来場者数:約650名				・秋の読書週間企画「五・七・五の秋」 期間:平成30年10月13日～11月11日 会場:図書館エントランス 「図書館」「八重山」「秋」をテーマに、市民から“あなたの一句”と題して川柳を募集し、短冊にして図書館内に掲示を行う。 広報:ポスター、「広報いしがき」、新聞記事、ホームページ、図書館だより「南風」。			
				R2年度目標	予算額	—	千円
				・市立図書館開館30周年記念特別展 令和2年10月開催予定			
【点検評価】							
区分	評価の説明					評価凡例	
内部評価	S	<b>【成果・課題等】</b> 「マンガ展」は世代を問わず来場者が多く、特に若い人で会場が賑わった。アンケートからは再度開催を望む声や、マンガを実際に描く講座を希望する声がある等好評を博した。「琉球大学八重山芸能研究会資料展」は、市民に留まらず観光客からも反響があり、八重山芸能の多彩さを伝える機会となった。いずれも寄贈された資料を中心に展示を行い、予算はほとんどかかっておらず、なおかつ来場者から高評価を得ることが出来た。					S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70～100%) B:ある程度 計画通り (50～69%) C:あまりうまく っていない (30～49%) D:うまくいっ っていない (29%以下)
		予算をほとんどかけていないにも関わらず、広報活動を盛んに実施した結果、多くの方が来場され大きな反響を得たことは高く評価できる。職員の意欲的な取組が感じられ、そのことが市民の興味と期待に繋がったと思われる。引き続き、ニーズや傾向について情報を把握し、利用者の関心のあるインパクトのある企画展を開催してほしい。					
外部評価	S						

### 3 外部評価委員による総評

森永 梢

石垣市教育事務点検評価外部評価委員に委嘱され、各課のヒアリングを通して、未来を担う幼児、児童、生徒の自ら学ぶ意欲、学力向上、変化の激しい国際社会、情報社会にも逞しく生きていく人材の育成、市民の生涯学習の推進、学校、家庭社会の連携のもと、幼児、児童、生徒の健やかな成長と豊かな心の育成に向けて、一生懸命に取り組んでいることを感じた次第である。

コロナ禍の中、最近、いじめ問題がテレビや新聞記事等で取り上げられ、クローズアップされているが、本市はどうか気になっていた。本市は、いじめ問題対策連絡協議で学校におけるいじめ問題の現状、取り組みについて話し合われている。学校ではアンケートを取っているとの事であった。アンケートを取った以上、名前のあがってきた児童、生徒に対して、一人一人、時間をとって対応し、解決することが大切だと思う。いじめは、学校だけではなく、家庭内でも起きていると思われる。地域に住む大人は、隣近所の異変に気づきながらも、どう対応していいのかわからないと思う。異変に気づいたら、すぐに連絡できるような地域社会であって欲しい。ポスターや広報いしがき、地元新聞等に連絡先の掲載をお願いしたい。

健やかな体の育成を目指して、単独調理校（9校）では、給食食材及び施設衛生検査等、計画通り実施できたことは評価したい。去った9月3日（水）の地元新聞に吉原小学校で栄養教諭が食育講話「朝ごはんレシピ紹介」の記事が掲載されていた。すばらしい取り組みである。石垣市には数名の栄養教諭がいるという。各学校においては、月ごとの給食目標がある。行事や目標に合わせ、栄養教諭を大いに活用し、学校目標を達成して欲しい。

健やかな体の育成を目指して、各小学校、幼稚園等で、就学時健康診断が実施されている。令和元年度は、各学校においては、内科、歯科の検診、総合体育館では、視力、聴力の検診が実施された。児童の心身の状態を的確に把握するには、児童が学ぶ学校で、校医と共に教師と一緒に一回で取り組むことはできないものか。保護者にとっても仕事を2回休むより、1回の方がいいと思う。検討をお願いしたい。

確かな学力向上を目指して、学力調査、生活実態調査が実施されている。生活実態調査で、本市の児童、生徒は、自己肯定感が低く、誉められる意識が低いという事に危惧している。これらの事は、新聞掲載し、市民に知らせてもらい、児童、生徒を大いに誉め、自信を持たせたい。また、「ありがとう」の声かけは最も大事だという事を知り、これも市民に知らせる必要がある。家庭、地域社会で「ありがとう」の声かけ運動の展開、看板や横断幕の設置等をし、児童、生徒の自己肯定感を高めていきたい。

情報教育充実事業では、多様化、高度化する社会の変化に対応した教育が推進されている。10月1日（木）の地元新聞に萩生田光一文部科学大臣が来島し「GIGA スクール構想で意見交換」という記事があった。まさに情報社会の世の中になり、児童一人一台の端末機器整備が求められ、教育現場、家庭環境も劇的に変化することを感じた。児童一人一人を大切にし、格差のない学習の権利が保障される市の方針をしっかりと立て、話し合い、学

校、家庭との緊密な連携を推進して欲しい。

子ども若者自立支援の推進において、説明の中で心に残ったことばがある。「親身に寄り添う」ということばである。言うのは簡単だが、実際に長期的にできることは難しい事だと思う。0歳～39歳の児童、生徒、若者が幸せに生きて欲しいものである。

不登校対策支援の推進では、スクールライフサポーターの増員によって、より多くの児童、生徒の学校復帰が望まれる。検討して欲しい。

文化財の保存と活用では、フルスト原遺跡の整備を行い、有効的な活用を図る目的で、発掘調査報告書（300部）を刊行できたことは、内外に広く紹介することになり評価したい。昭和53年、フルスト原遺跡を発見し、伐採していた頃、私はそこを訪れる機会があった。屋敷周りの石積は、あちらこちらにあり、低い状態であった。現在は調査記録に基づき復元されている。また。報告書に、同53年の頃とこれまでの様子が見事に編集され、数回に渡り、地域の人々に説明会を開催されていた。高く評価したい。

埋蔵文化財の保護と周知における真栄里古墓群発掘調査事業においては、古墓6基の発掘調査を終了するとともに二千年前の石灰岩塊（津波石）を一個保存できたことは高く評価したい。現場地図を委員会職員からもらい、現地を訪ねるため、いろいろな人に尋ね、二日ばかりでやっと現地に辿り着くことができた。市民が分かるように案内板を設置して欲しい。

9月27日（日）の地元新聞に「島の植物と文化財を知る」という事でこども博物館の事が掲載されていた。今年度は新型コロナの影響で2講座を1講座に凝縮して実施したようだ。博物館の企画展、「没後20年國吉清尚回顧展」に足を運んだ。観覧者数454名で大盛況である。國吉氏の作品は、グロテスクの印象を受けた。今後は、幼児、児童、生徒にインパクトのある展示会の開催（恐竜展等）を期待する。

調理業務等民間委託業務については、アンケートの結果を新聞掲載できたことは評価したい。今年、異物混入についての新聞記事があったが安心、安全な給食の提供を徹底して欲しい。

図書館活動の充実について、積極的に市民の生涯学習の充実向上のため、より親しみやすいサービスを目指し、実施している。ヒアリングの中で感心した事がある。コロナ禍の中、職員が児童図書を毎日一冊一冊、丁寧に消毒していたことである。今では、図書の扱いも分かり、三日間程そのまま置いておけば、貸し出し可能のようです。積極的に活動している事を高く評価したい。また、図書除菌機を導入された事は、市民にとって大変いい事だと思う。

結びに、各課の取り組みはすばらしいものがある。昨年より各課の活動が地元新聞での掲載、さんさんラジオ、広報いしがき、ホームページにより、市民に広く伝わったと思う。今後とも一層の取り組みを期待したい。

昨年に引き続き教育委員会の事務に関する点検及び評価に係る外部評価に携わることになり、教育委員会の事務事業の重要性を再認識した。

令和元年度の20事務事業については、新型コロナウイルス感染症という大きな外的要因の影響もあったが、関係機関諸団体と連携を密にしながら、各課等が所管する事業の目標達成、課題解決に向け着実に取り組まれていると感じた。

本市は「人材をもって資源と為す」を是とし、学校においては、命の大切さや思いやりの心など、「豊かな心」を育成する教育活動を推進している。

総務課所管事業のいじめ問題対策費では、いじめ問題は解決の難しい課題であるが、種々の取組での対応は非常に重要であり、今後も社会全体で子どもを見守る取組を着実に進めてほしい。

大濱信泉記念館（指定管理者制度）については、コロナ禍の影響で利用者の減少が懸念される。良好な管理運営に対するモチベーションを低下させないような取組に期待する。

学務課所管事業の学校給食費では、食育の推進にも取り組むきめ細かな給食運営を期待する。

学齡児就学対策費（新入学）については、就学時健康診断において目標を上回る受診率達成により、より多くの就学予定者の心身の状態を的確に把握できたことは評価できる。

学校教育課所管事業の学力向上対策費では、国・県・市の各種調査の結果から、本市の児童の学力は全国水準に達し、中学校も、全国との差を着実に縮めてきていることは、これまでの取組の成果である。学力の向上を図るこの事業の意義は大きい。学ぶ意欲を育て学力を向上させたことは高く評価できる。

研究指定校事業については、研究の成果の情報を共有する積極的な取組は大いに評価できる。

気になる子のすこやかな学びを支援する事業については、課題であった臨床心理士の確保により、巡回相談及び心理検査を専門的な立場から充実した支援が行われていることは高く評価できる。

「学ぶ意欲・わかる授業」を支援する事業については、各支援員の配置又は派遣は、学力向上に繋がる有効な事業であり評価できる。今後も各支援と教職員との連携を密にし、計画的に事業を推進してほしい。

情報教育充実事業については、年次的にICT機器の整備が進む中で、ICTを活用した授業は、学校間の活用格差や教職員個々の活用能力の格差を少なくすることも重要である。教員のICT活用指導力向上を図るため、ICT支援員を活用した支援強化も必要と思われる。情報モラル教育のより一層の充実を図っていただきたい。

いきいき学び課所管事業の子ども若者総合相談支援事業では、専門的な立場からの人的支援は、学校教育や家族への大きな支援となっており、事業の必要性は極めて大きい。今後の支援の展開を期待する。

不登校対策等支援員配置モデル事業については、教育委員会、学校、家庭、地域で連携し、子どもたちが安心して通えるような環境づくりを更に進めてほしい。

文化財課所管事業の文化財保護啓発費では、各種イベントや体験学習の実施が地域の自然や歴史、文化への興味や関心に繋がり、文化財ボランティアの育成にも繋がることから、今後も計画的に事業を推進していただきたい。事業を実施する場合は、各地域の青年会に参加協力の発信、学校教育との連携等の工夫も必要と思われる。

フルスト原遺跡保存修理事業については、先人たちが残した貴重な遺跡の有効的な活用を図っていただきたい。

真栄里古墳群発掘調査事業については、発掘調査は大事な事業であり、開発業者と別途協議し、現地保存に繋がったことは高く評価したい。今後も遺跡が破壊されないよう開発業者の認識を高めていただきたい。

市史編集課所管事業の石垣市史戦後開拓移民編集・発刊事業では、移民一世の多くの方から聞き取りができるよう、早急に調査をしていただきたい。

「市政のあゆみ（平成版）」編集・発刊事業については、スキャニング・デジタル化した資料は、市史編集課のホームページに公開するとともに、刊行物の活用を図ることにより市民の目に触れる機会を増やしていただきたい。

博物館所管事業の企画展等の開催（展示普及整理保存費）では、沖縄の陶芸家、故・國吉清尚氏の回顧展に併せて博物館の所蔵資料、借用した資料の公開活用は評価できる。

学校給食センター所管事業の調理業務等民間委託業務では、学校給食センターの管理運営については、学校給食を安定・継続して提供していくために不可欠な事業であり、今後も受託業者、学校及び学校教諭等学校給食栄養管理者との連携を通して、安全安心で栄養バランスのとれた学校給食の提供等に努めていただきたい。

図書館所管事業の図書館充実費では、市民の生涯学習の充実と向上のため、より親しみやすい図書館を目指して様々なイベントを企画し、コロナ禍においての取組は高く評価できる。移動手段が限られていて本を入手する機会が乏しかったりする高齢者、障がい者等向けの施策として、高齢者施設への巡回サービスや障がい者への郵送サービス等の検討を期待する。

特別企画展については、若年層に図書館サービスを知っていただく企画であり高く評価したい。今後も新規利用者の開拓を図ってほしい。郷土が生んだ偉人などを発掘し展示紹介する取組も期待したい。

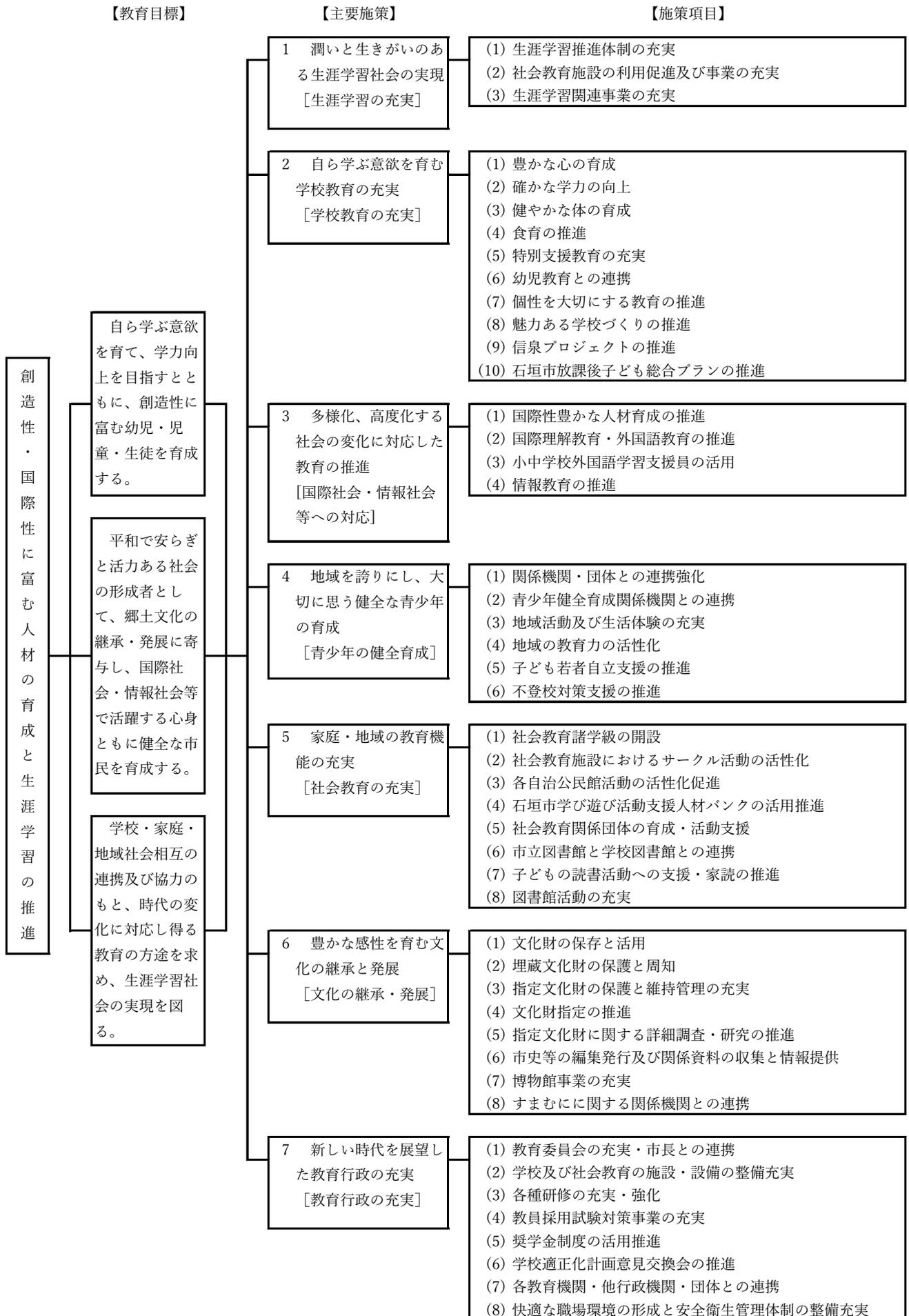
前年度外部評価において要望等させていただき事務事業について、今年度取り組まれていることは、外部評価委員としても、大きな喜びが感じられる。

新型コロナウイルス感染防止のため様々な対応が必要とする状況下において、学校休業や三密を避ける取組等により子どもを取り巻く環境が大きく変化していることを考慮し、子どもの心に寄り添いながら心を育む教育の推進も必要である。

今後とも、国際化、情報化社会等、様々な社会変化等に対応できる児童生徒の育成の推進に努めていただきたい。

【資料】

平成31年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系



令和2年度 石垣市教育委員会組織機構図



## 石垣市教育事務点検評価実施要綱

平成 21 年 1 月 30 日  
教育委員会告示第 1 号

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことについて必要な事項を定めるものとする。

(教育事務点検評価委員会)

第 2 条 教育事務点検評価は、教育委員会を主体とし、点検及び評価の業務を的確かつ円滑に執行するため、教育事務点検評価委員会(以下「点検評価委員会」という。)を置く。

2 点検評価委員会は、教育部長、石垣市教育委員会事務局組織規則(平成 15 年石垣市教育委員会告示第 10 号)第 5 条に定める事務局の課の長、博物館長、学校給食センター所長及び図書館長をもって構成し、委員長に教育部長、副委員長に総務課長をもって充てる。

3 委員長は、点検評価委員会を代表し、その事務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その事務を代理する。

5 点検評価委員会の運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

(点検及び評価する事務)

第 3 条 教育事務点検評価で点検及び評価する事務は、教育委員会の権限に属する事務(教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。)で、前年度に執行されたもののうちから点検評価委員会が抽出した事務とする。

(点検及び評価の時期)

第 4 条 教育事務点検評価は、前年度決算後速やかに実施するものとする。

(点検及び評価の方法)

第 5 条 教育事務点検評価は、第 3 条の規定により抽出した事務を、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める組織が行うものとする。

(1) 内部評価 点検評価委員会

(2) 外部評価 教育事務点検評価のために置かれる外部評価委員会

(外部評価委員会の設置)

第 6 条 教育委員会は、事務の点検評価に関し、その客観性の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2 前項の学識経験を有する者の知見を活用するため、外部評価委員会を設置する。

3 外部評価委員会は、2 人の委員で組織する。

4 外部評価委員は、次に定める者の中から教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) その他教育委員会が必要と認めた者

5 外部評価委員の任期は、委嘱の日から委嘱の日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

6 外部評価委員の報酬は、石垣市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和47年石垣市条例第70号)別表に掲げる法又は条例による審議会等の委員に委嘱された者の報酬額に準じるものとする。

(報告書の作成)

第7条 教育事務点検評価の結果に関する報告書(以下「報告書」という。)は、点検評価委員会が作成し、前条に規定する外部評価委員会の意見を付して、教育長が教育委員会に付議するものとする。

(報告書の提出及び公表)

第8条 報告書の議会への提出は、12月定例会に行うものとする。

2 報告書は、前項の提出を行った後、速やかに石垣市のインターネットホームページで公表するものとする。

(結果の活用)

第9条 教育事務点検評価の結果は、教育行政の計画立案、事務の改善、効率化等に活用するものとする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、教育事務点検評価の業務に必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成22年教委告示第10号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年教委告示第3号)

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年教委告示第18号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年教委告示第5号)

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年教委告示第20号)

この要綱は、公布の日から施行する。

令和2年度  
石垣市教育事務点検評価報告書  
(令和元年度事業対象)

---

令和2年11月発行  
石垣市教育委員会  
沖縄県石垣市美崎町16番地6  
TEL 0980-82-2604  
FAX 0980-82-0294

---